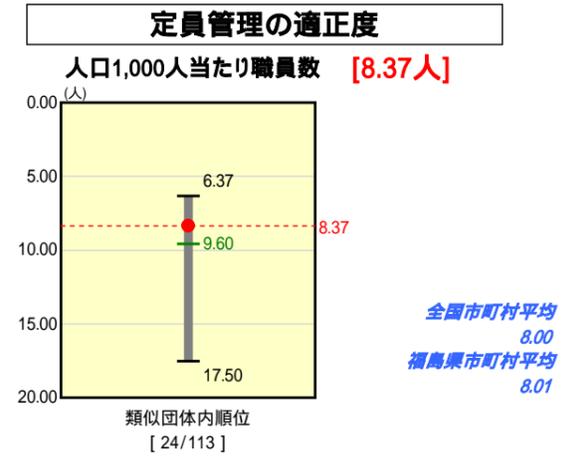
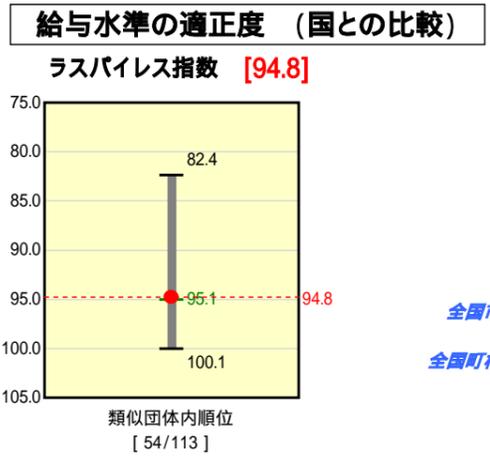
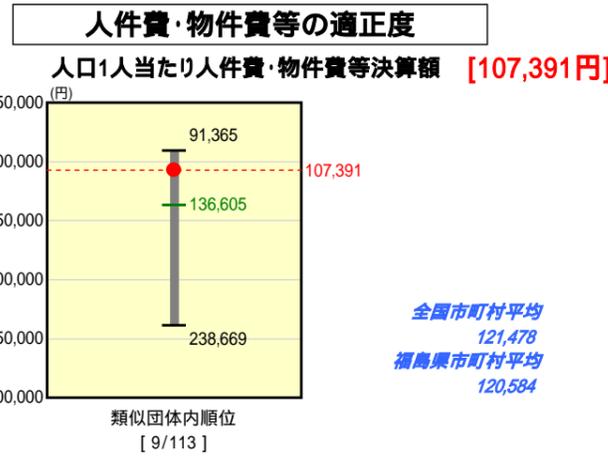
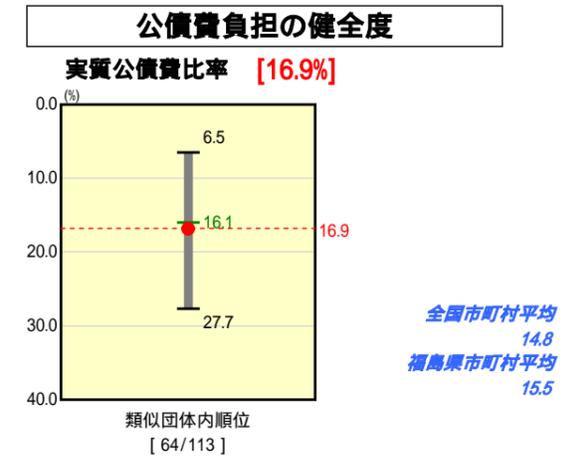
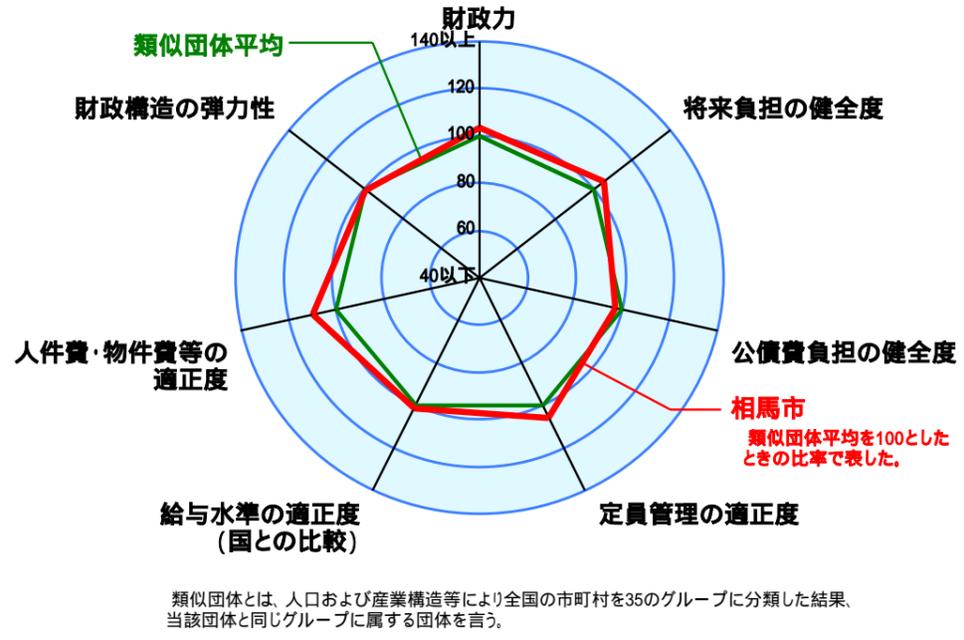
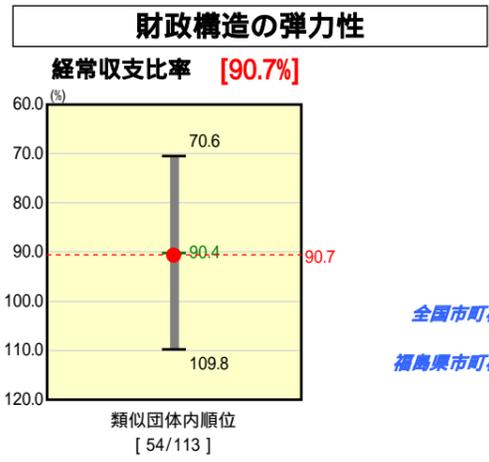
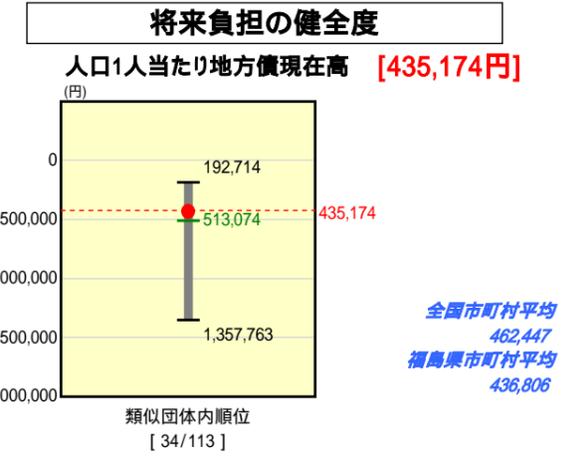
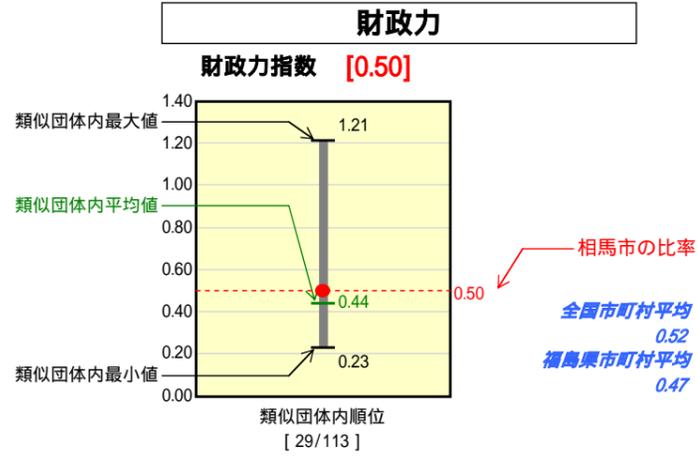


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福島県 相馬市

人口	38,951	人(H18.3.31現在)
面積	197.67	km <sup>2</sup>
歳入総額	18,855,707	千円
歳出総額	18,273,087	千円
実質収支	582,620	千円



**分析欄**

**財政力指数:** 当市の指標は前年度と比べほぼ横ばいとなっている。類似団体の指標は上回るものの、歳出面では福祉関係経費が増加し、また歳入面では長引く景気低迷により、市税収入の回復が見られないことが影響している。今後も、さらなる歳出の抑制と市税収入の確保に努め、財政の健全化を図る。

**経常収支比率:** 当市の比率は上昇傾向にあり90.7%と類似団体平均より上回っている。これは、歳出面では職員給与の独自削減等、歳出削減の努力が行っているものの、扶助費、公債費などの義務的経費、補助費等及び国民健康保険、老人保健、介護保険の各特別会計への繰出金などが伸びており、また、歳入面では市税収入、地方交付税はほぼ横ばい、臨時財政対策債の減額により、経常一般財源の伸びが見られず、経常収支比率を高くしている。今後は、さらなる市税収入の確保に努め、また事業の緊急性、必要性を考え計画的に事業を行い歳出削減に取り組む。

**実質公債費比率:** 当市の指標は類似団体と比較して16.9%と高い水準にある。これは他市に比較して債務負担行為が多額であることが大きく影響しているためである。17年度から新たにスタートした光陽地区石炭灰埋立処分事業の用地取得及び施設取得に係る債務負担行為、及びかんがい排水事業に対する債務負担行為が大きな割合を占めている。かんがい排水事業については、平成17年度より平準化事業に取り組み、また

今後は地方債の発行額を抑制し、新たな債務負担行為の設定を抑え、単年度の負担を軽減し健全化を図る。

**人口1人当たり地方債現在高:** 当市ではここ数年、普通建設事業の縮減を行っているため地方債現在高は減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くと思われる。緊急性、必要性等を考慮した事業の選択により、起債に頼ることのない財政運営を行う。

**ラスパイレス指数:** 平成16年度から実施している給与の独自削減(給与の号給に応じて2%、3%、5%の削減)により類似団体平均より下回った指標となっている。今後も新規採用職員の採用を抑制するなど、引き続き人件費削減の努力を行う。

**人口1,000人当たり職員数:** 当市の職員数は、市策定の定員適正化計画に基づき退職者不補充による職員数の削減に取り組んできたことにより、類似団体平均を下回っている。今後も住民サービスを低下させることなく、効率的、効果的な人員配置等を行うことにより、計画的な定員管理を実施する。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 人件費については職員数の削減に取り組む、給与の独自削減を行ったことによるものであり、物件費等については事務事業の簡素化・効率化を図り歳出の抑制に努めたことによるものである。今後は現在の水準を維持し、積極的に財政の健全化を推進する。